



生は幼少より音楽に天  
新隊鼓手となり、更に明  
寺鼓手を振り出しに終生  
発展に貢献するところ大  
八年大本営附として広島  
奉仕し、同三十二年累進して  
夏、清国揚子江方面に出動、  
軍楽隊を率いて戦没者の茶  
父を併発して明治三十七年十二  
の才幹を抱きながら三十七年十二  
死にて、永眠した。

